

# 抱負と検査部門の概略(下)

総務課長・技師長補佐 廣川 亮

当院検査部においても時代に遅れることなく技師各々が技術・知識の研鑽に積極的に取り組んでおり、各専門学会の認定資格取得者を見て27名が認定資格を有しており、道内他医療施設と比べてもトップの取得率を保持しております。

認定資格と聞いても「ピン」とこない方も多いかと思いますが、ここ十年くらいででしょうか、日本医師会をはじめとする各専門学会では、検査データや技術・知識の標準化を推進しております。所謂、どの病院で検査しても同じレベルで同じデータを患者様に提供できる体制・制度作り、および、ある一定レベルを超える専門知識を有する人材を育成・評価する仕組みとなります。

これらは、全てが患者様への安心と安全に主眼を置いた取り組みと言えるかもしれません。

当院検査部では技師個々の知識・技術ばかりでなく、検査室がその評価対象となる臨床検査室精度保証施設認定を道内でもいち早く取得、認定を受けております。

び、ある一定レベル

## 検査室の紹介

平均外来採血者数 : 215人 /日 全ての技師が担当します  
 平均検体検査数 : 1,589検体 /日  
 平均生体検査数 : 200人 /日  
 夜間時間外検体数 : 24.4件 (A) /日

検査部(病理部)職員 : 医師2名 臨床検査技師33名(嘱託1名) 助手1名  
 認定資格取得者 : 28/33名 (※ 複数取得あり 取得率84.8%)  
 認定 : 検査室精度保証施設 認定取得 (H22~)

細胞検査士(4名)、糖尿病療養指導士(3名)、認定超音波検査士(消化器4名、循環器2名、体表臓器2名)、NST専門検査技師(2名)、認定輸血検査技師(3名)、認定心電検査技師(1名)、認定一般検査技師(2名)、認定血液検査技師(2名)、未病専門指導師(2名)、認定臨床化学者(1名)



外部精度管理調査成績 : 日本医師会 100.0点、日本臨床検査技師会 99.6点  
**認定取得技師数(率)・精度管理調査成績は3大学の上**

Kitami Red Cross HP

患者様の身体から出るサインは、様々な形であらわれま

この様々なサインを確認するために診察がおこなわれ、それらを確かめるために臨床検査がおこなわれます。

身体の状態を知るためには、それにつながる様々なサインを確認していくことが大切です。

地方にあっても都市部のデータ・技術・知識に負けない精度を維持し、患者様へ提供できるよう努めております。



す。もし、検査のことでわからないことがあれば、当院中央採血室の臨床検査技師に気軽にお尋ね下さい。笑顔で対応してくれるはずですよ。

知ってもらおう みんなの臨床検査  
 検査で守るあなたの健康  
**11月11日は 臨床検査の日**  
 11月11日(木) 13:00~  
 www.jpclt.org

決める大きな手助けにもなります。治療経過の確認や

重症度の判定、回復の度合いなどにも利用されているので

「ありがとうございます」

拙いお話で非常にお恥ずかしい限りですが、・終わりに「オホーツクの風」に寄せて、新病院建設工事は新年度の新館オープン、その翌年のグランドオープンに向けて着々と進んでおります。

お恥ずかしい限りですが、・終わりに「オホーツクの風」に寄せて、新病院建設工事は新年度の新館オープン、その翌年のグランドオープンに向けて着々と進んでおります。

## 編集後記

総務課 廣川 亨

「ありがとうございます」

5面の藤江内科クリニック訪問記事、6面の総務課長・技師長補佐の「抱負と検査部門の概略」は昨年夏の原稿です。掲載が遅くなり申し訳ないこと、そして本文の多くの部分で敬称を略しましたこと、お許し下さい。(逢坂)

ウインターミーティング「看護部長を困んで」、平成26年度第5回総会記念きたみ医療サミット・ウインター「PETはオホーツクの宝物」は皆様のご協力が無事に閉会することができました。誠に有り難くお礼を申し上げます。2つの行事のテイクオフを阿久津事務局長が担当しました。根気のいる作業で、テキストは完成しました。お疲れ様でした。